

ホタル学校だより

未来につなぐホタルの光 鳥川と河合で幼虫放流式を開催



鳥川ホタル保存会による放流の様子

平成 28 年 3 月 20 日（日）、岡崎市鳥川町にて鳥川ホタル保存会によるゲンジボタルの幼虫放流が行われました。本来は前日の 19 日（土）に放流式を予定していましたが、あいにくの大雨により中止となりました。その代わりに翌日鳥川ホタル保存会のメンバーの手で準備されていた幼虫約 300 匹を鳥川へと放流しました。

この幼虫たちは保存会や有志のボランティアの皆様の協力で、昨年 7 月からホタル学校で人工飼育してきたものです。水の交換やエサとなるカワニナの飼育、幼虫の仕分けなど地道な作業を 9 か月間積み重ね、ついに放流のときを迎えることができました。皆様のご協力に感謝！です。



河合学区での放流式の様子

河合学区での放流式は今年で 49 回目となります。岡崎ゲンジボタル河合保存会の鈴木清美（きよみ）会長からは「半世紀にもわたって活動が続けられてきたことは諸先輩方の努力の賜物であり、未来に残すべき貴重な財産です。これをしっかりと今後に引き継いでいってほしいと思います。」との挨拶がなされました。

また、この日は内田市長も参列され、河合中学校の生徒や生平（おいだいら）小学校の児童らと一緒に幼虫を放流し、「これからも岡崎にホタルの光を灯し続けてほしいと思います。」と挨拶をされました。ホタルと歩み続けて 50 年。さらに次の 50 年を築いていくために必要なことを考え、ホタルと人との「共生」を実現していきたいものです。

ホタル学校歳時記（No. 8）

名は体を現す… それ本当ですか？

雑草とか雑木と気楽に口にしているが、いずれも学名と和名がきちんと決められている。全てを知り尽くすことは不可能であるが、日常生活に必要な「植物、動物、樹木」の名前だけを記憶されている方は多い。

ホタルは世界にはおよそ 2,000 種の仲間が生息しており、日本列島には 50 種が記録されている。多くは陸生のホタルで一生を陸地で過ごす。ゲンジボタルやヘイケボタル、クメジマボタルは、幼虫時代を水中で過ごす。ヒメボタルは素晴らしい発光を見せてくれるが陸生のホタルだ。



葉の上で休むゲンジボタル

さて、ゲンジボタルやヘイケボタルの名前はいつの時代にどなたが命名されたかこれといった根拠は見当たらないが、昆虫学者やホタル学者の先生方の書物で確認できたことを紹介しよう。

最初は貝原益軒先生の説で、「ほ」は「火」に通じ、「たる」は「垂れ下がる」という意味であるというもので、これは古歌にもみられる。

また、別の説は小野蘭山先生の「星垂れる」という意味であるというものもある。そのほかにも「夜光、火の幼児」といった名前も見られ、古くから不思議な虫とされている。

ゲンジやヘイケの名称は江戸時代に命名されたと言う記録がある。体の大きさや発光、飛翔等の違いが根拠のようだ。古い書物で研究をしてぜひこの謎を解き明かしてみしてほしい。（ホタル学校名誉校長 古田忠久）

鳥川の新名所・喜桜山に登ろう！



山頂にあるヤマザクラの大木の前にて

平成 27 年 3 月下旬、鳥川ホタルの里の山歩きコースに新しく「喜桜山コース」が完成しました。一年前よりルート調査と案内看板の設置が行われてきましたが、この度ついにお披露目となりました。ホタル学校では完成記念として 3 月 27 日（日）に喜桜山トレッキングイベントを開催し、30 名ほどの参加者が初春の里山歩きを楽しみました。

喜桜山はホタル学校の東側にある集会場の裏から登ることができます。その名の通り山頂には樹齢 100 年を超す大きなヤマザクラの木が生えているのが特徴です。ホタル学校では新しいコースが記載された山歩きマップを配布しておりますので、ぜひお立ち寄りください！

鳥川の湧水群が名水百選の選抜総選挙で第1位に！



66 秘境部門

4,470 票

鳥川ホタルの里湧水群

（愛知県岡崎市）



（名水百選選抜総選挙のHPより）

環境省が平成 28 年 2 月 15 日～3 月 13 日に実施した名水百選の人気投票企画・選抜総選挙にて、「鳥川ホタルの里湧水群」が「秘境として素晴らしい名水部門」にて 4,470 票を獲得し、見事第 1 位に輝きました☆



湧水群の 1 つ「延命水」

豊かな湧水は岡崎が全国に誇る素晴らしい宝です。どなたでも汲むことができるよう整備されていますので、ぜひ鳥川の湧水群へお越しください！

鳥川ホタル保存会に新会長就任



28 年度より会長に就任した片岡喜幸氏

鳥川ホタル保存会は平成 6 年に発足し、今年で 22 年目となります。現在はホタル学校を中心に活動し、市内はもとより県内外にも認知されるようになりました。保存会の会則にあるように故郷を思う心を伝え、水と森の大切さの理解を広め、地区の発展に貢献して参りたいと思いますので、よろしくお願い致します。（新会長 片岡 喜幸氏）

ホタルが喜ぶ環境を探そう！美合小学校「ホタル飼育部」環境教室

岡崎市立美合小学校では、古くからゲンジボタルの保護活動が盛んで、児童による幼虫の飼育や近くの山綱川への放流、河川の美化活動などが続けられています。活動の核となるのが「ホタル飼育部」（顧問：谷本今日子氏）。平成 28 年 3 月 25 日に環境保全課の職員派遣により環境教室が実施され、山綱川の環境調査を行い、幼虫の放流に適した場所の検討や成虫の発生予想を行いました。部員は 3 つのグループに分かれてホタルの視点で河川の調査を行い、河川を 5 つに区分けして川の幅、流れ、周辺の樹木、産卵用のコケ、土手の様子などを記録しました。毎年、幼虫の放流を行っているポイントは“最適”との意見がまとまりましたが、6 月になったら改めて成虫の飛翔調査をして確認することになりました。果たして予想は当たるかな！？



[ホタル学校に関する情報はホームページ・ブログをご覧ください！]

★ホームページ…http://www.morinoeki.jp/hotaru_gakkou/index.html

★水とみどりの森の駅ブログ…<http://sizontaikennomori.boon-log.com>